

抗議文

2019年6月10日

在本邦アメリカ合衆国大使館
特命全権大使
ウィリアム・F・ハガディ 閣下

苫小牧市長 岩倉博文

この度、貴国が2019年2月13日に臨界前核実験を実施したとの報道を受けました。

当市は、核兵器のない平和の実現に努力していくことを決意し、2002年に「苫小牧市非核平和都市条例」を施行しており、核兵器の実験等に対する反対の表明も謳っています。

国際社会が「核兵器のない世界」の実施に向けて努力するなか、核兵器保有や新たな核兵器開発へつながる核実験を実施したことは、唯一の被爆国として世界平和を願う私どもにとりまして極めて遺憾であり、市民を代表して貴国に対し強く抗議の意を表するものであります。

貴国が今後核軍拡競争につながる核実験を中止し、核兵器廃絶に向け主導的役割を果たすよう強く要請いたしますので、本国政府へ伝達されるようお願いいたします。